

令和5年度 学校評価シート

	取組	指導の重点	具体的方策 等	評価			振り返り 来年度に向けての方策等	学校関係者評価
				職員	児童	保護者		
学校 教育 目 標 「心豊か で 明 る く た く ま し い 東 っ 子 の 育 成」	人を大切にできる子 (徳) 【自己肯定感の醸成】	人権・同和教育の推進	・教職員の研修(進路保障の取組・人権感覚の高揚)を行う。 ・便り等による保護者への啓発を行う。 ・教育活動全体における人権・同和教育の視点を明確にする。 ・「いじめ防止基本方針」の徹底を図る。	A	A	A	◆計画的に研修を実施していく。 ◆児童の自己肯定感を高める取組を工夫し、実践する。	子どもたちが落ち着いて授業に取り組んでいる様子が見られた。 地域で子どもたちに出会うことがほとんどない。元気よく学校で授業や活動をしている様子が見られ、安心した。
		自尊感情の育成	・達成感・成就感を味わわせる教育活動の展開を図る。 ・子どもに寄り添い、自己決定させていく指導・支援を行う。 ・スモールステップを踏んだ指導を取り入れ、実践する。	A	A	A		
		生徒指導の充実	・積極的生徒指導に心がけ、自己指導能力の育成を図る。 ・教育相談の充実を図る。 ・情報共有に努め、組織的に対応する。	A	A	A		
		温かい学級づくり	・学級への貢献度を育てる場を設定する。 ・伝え合いを意識した授業や活動を積極的に取り入れる。 ・学級経営についての情報交換を行う。 ・学級づくりについての研修を実施する。	B	A	A		
		道徳教育の推進	・特別の教科「道徳」の授業の充実を図る。 ねらいを明確にした授業の展開と指導と評価の工夫・改善 資料や題材の工夫と活用 日常生活との関連 ・教育活動全体での道徳教育の推進を図る。	B	A	A		
	特別支援教育の充実	・学校全体で支える風土を醸成する取組を推進する。 ・ユニバーサルデザインによる授業づくりに努める。 ・校内支援体制の充実を図る。 ・個別の指導計画、支援計画を作成し、指導・支援に活かす。	B	A	A	◆互いの授業を見合う機会を設定して、指導力の向上に努める。 ◆支援体制を強化するとともに、継続的に取り組んでいく。		
	がんばって学ぶ子 (知) 【聴くことを大切に】	基礎的・基本的な知識・技能の定着	・繰り返し学習や補充学習の充実を図る。 朝学習の有効活用 家庭学習との関連強化 東っ子チャレンジ会の活用 ・個に応じたきめ細やかな指導を実施する。	A	A	A	◆校内研究、市アクションプランとの連携を図る。 ◆学力調査の分析を行い、来年度の取組に反映させていく。	児童数が少なくなり、学習面で競争する機会が減っているため、学力の低下が心配であったが、しっかり学力が身につけていることに驚いた。日頃の取組を今後も続けていってほしい。
		主体的・協働的な学びのある授業実践	・わかる授業のための授業改善を図る。 ・自己表出させる授業を工夫する。 話し合い活動を取り入れる。	B	A	B		
		家庭学習の定着	・「家庭学習のてびき」の活用と励行に取り組む。 ・家庭学習の習慣化へ向けた取組を充実させる。 学年×10分の励行 自学強化に向けた取組 保護者への啓発	B	B	B	◆来年度も指導内容チェックシートで家庭学習や自学についての項目を残し、取り組んでいく。	
		読書活動の推進	・学校図書館を活用した授業の展開を工夫する。 ・読書活動を推進する。 ・読書タイムを設定したり、読み聞かせを実施したりする。	A	B	C	◆引き続き図書館だより等で子ども達の読書の様子を発信する。 「家読シート」などの読書活動を継続して取り組む。	
		自己実現に向けた支援の充実	・キャリア教育を推進する。 出会った人の思いに触れ、自己の生き方を学ぶ学習の展開 (総合的な学習、生活科、特別活動等)	B	A	B	◆目標を決め、それに向かって頑張り振り返る。「めあて→活動→振り返り」を意識して活動していく。	
		地域の特色を生かした教育活動の推進	・ふるさと教育を推進する。 地域のこと、もの、ひとを活かした教育活動の推進 継続的な取組と発信	B	A	A		
	しなやかでたくましい子 (体) 【自分で考えて行動する】	基本的生活習慣の定着	・あいさつ、返事、はきものそろえの指導を徹底する。 児童会活動による継続的取組の工夫 家庭・地域と連携した継続的取組の工夫 ・望ましい生活習慣や健康管理能力を育成する。 ・ノーメディア、アウトメディアの取組を充実させる。	B	A	B	◆メディアに関するルールを親子で話し合って決める取り組みを今後も継続させる。 また、生活リズム(特に就寝時間)と関連付けて指導する必要がある。	メディアへの適切なかわり方ができるように継続して指導して欲しい。 スクールバスの運行に伴って、徒歩の登下校が無くなり運動量の確保に心配がある。
		体力向上プランの推進	・教科体育の充実を図る。 運動の質と量の向上にむけた授業づくり 体力テストの結果を踏まえた運動内容の工夫 ・運動の日常化を図る。 なわとび等の実施、戸外遊びの奨励 ・課外活動を実施する。	A	A	B	◆体力テストの分析結果と体育科の学習との関連を強化する。 ◆外遊びに向かうような環境整備を行う。	見守り隊の活動がなくなり、今は「ながら見守り」としている。
		食育の推進	・日常給食指導の充実を図る。 ・食に関する指導を推進する。 栄養教諭による食の学習	A	A	B	◆引き続き、給食指導の徹底を図る。 ◆栄養教諭による食の指導を実施する。	
		保健・安全教育の推進	・保健指導の充実を図る。 ・交通安全、防災にむけた行動を育成する。 交通安全指導の徹底と避難訓練の計画的な実施	A	A	B		
		なかよし班活動の充実	・異学年交流で、交流する場を計画的に作る。 ・感情交流の場面を意図的に作る。	A	A	B		
	家庭・地域と連携し、信頼される学校づくり	積極的な学校公開	・東っ子を語る会を実施する。 ・各種学校行事や授業公開日を実施する。 ・各種便りの発行やホームページによる情報提供を行う。	A	/	A	◆交流はしているが、うまく保護者に伝わっていない。おたよりやHP等で情報発信する。(ただ1年生の保育園交流は例年アンケート後に実施される。) ◆保小連携は、5年総合との関連を図り、成果を得ることができた。 ◆たより等は定期的に発行することができた。	地域の行事に子どもたちがよく参加している。規模は小さいがふるさと教育の一環として継続していきたい。
		保・小・中の連携	・こども園、中学校との連絡会、一日入学等を実施する。 ・授業を公開する場を設け、子ども理解を進める。 ・連携担当者による情報交換を計画的に行う。	A	/	B		
		各種便りの発行と授業公開	・学校便り、学級だよりの定期的・意図的に発行する。 ・授業公開、学級懇談会、個人懇談等を実施する。	A	/	A		
		学校教育予算の効率的な執行と教育条件の整備	・優先順位を配慮した計画的な予算執行に努める。 ・働き方改革に向けた職場環境の整備に努める。	A	/	A		
		学校評価の実施	・児童、保護者、職員のアンケートを実施し、評価・改善を図る。 ・学校評価委員会を定期的に開催する。	A	/	A		